

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.99

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 ****



2面

こども食堂ぽてと

片岡 豊子 (かたおか とよこ) さん



3面

旭出学園でまえ教室

慶野 直美 (けいの なおみ) さん



「税理士による会計・税務相談」を 活用してみませんか?

練馬区立区民協働交流センターでは、練馬区で活動するNPO等の地域活動団体を対象に、税理士による会計・税務相談を毎月実施しています(事前予約制)。

団体の会計・税務について相談したい方はぜひご利用ください。

(相談例：団体の確定申告について、助成金申請に必要な会計書類について等)

【実施日時】 毎月第3火曜日 13時～16時(1団体あたり50分間)

※事前予約制です。申し込み多数の場合は先着順とします。

※第3火曜日が祝日等の場合は、翌日以降に実施します。

【担当税理士】 松原 明住 氏 (東京税理士会練馬東支部所属)

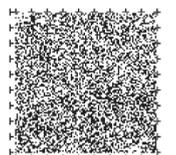
【予約方法】 実施日の8日前までに、窓口・電話・メール等にて



【問い合わせ・申し込み先】

練馬区立区民協働交流センター TEL：03-6757-2025 FAX：03-6757-2026

E-mail：KYODOSUISHIN02@city.nerima.tokyo.jp



専用アプリのUni-Voiceを使用して右のコードを読み取ると記事の情報を音声で読み上げます。

音声コード

手作りの温かい食事子どもたちに笑顔を♪

こども食堂ぽてと



左から、依田さん、片岡さん、琴尾さん

練馬区で25年前から子育て支援を続けてきた「NPO法人保育サービスぽてと」。子育てひろばや学童保育など、地域の子育てを支える活動をしてきたこの団体が、豊島園駅前で新たに始めた事業が「こども食堂ぽてと」です。

毎月第3火曜日の夕方、小中学生と保護者を対象に手作りの夕食を提供しています。運営しているのは、副理事長の片岡さん、理事の依田さん、そして飲食店

を営む琴尾さんの3人です。

2021年から子どもたちの宿題や勉強をサポートする学習スペース「寺子屋ぽてと」を運営してきました。そんな中、「子どもたちに栄養バランスのとれた食事を食べさせてあげたい」という琴尾さんの思いから、2022年にこども食堂をスタート。事前登録制で予約は不要。現在は6組ほどの親子が登録しており、毎回20食分を用意しているそうです。学童のあとに立ち寄り、仕事帰りのお母さんと一緒に食事をする親子の姿も見られます。

「地元で恩返しをしたい、子どもたちに還元したいという思いで寄付してくださる方が多くて本当にありがたいです」と片岡さんは語ります。取材日には、小竹町にお住まいのK.Aさんから淡路島産の新玉ねぎやメヒカリの干物、ハムなどの



一汁三菜を基本にデザートまで全て手作り。おいしい食事に自然と会話も弾みます

寄付があり、新玉ねぎを使ったメニューが提供されました。出来合いのものは使わず、旬の食材を生かし、ひと手間かけた家庭料理を心がけているそうです。

「見た目も大事なので、盛り付けにも気を配っています」と片岡さん。料理を1品ずつ皿や小鉢に盛り、お盆にきれいに並べることで、ちょっと特別なごはんに見えるから不思議です。家庭ではなかなか作れないような料理に、子どもたちが「家ではこんなにおかずが並ばない」「魚ってあんまり食べないけど、おいしい!」と言いながら、よく食べていたのが印象的でした。

小中学生は無料、大人は1食300円で利用できます。「子どもが1人で食事するのが気になる」「忙しくて食事を作る時間がない」といった悩みを抱えている方は、月に1度だけでも、利用してみたいかがでしょうか。



息の合った連携プレーで手際良く料理を作る3人。寄付で集まった食材を見てからメニューを決めています

こども食堂ぽてと
 代表：片岡 豊子
 住所：練馬区練馬4-10-14
 総健メゾン三幸102
 TEL：03-5946-6746
 メール：info@potato.or.jp

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■公益財団法人 洲崎福祉財団「一般助成」

【助成対象】

- ・障害児（者）の自立と福祉向上を目的とした各種活動
- ・障害児（者）に対する自助・自立の支援事業

【助成金額】1件あたりの上限額：福祉車両 400万円／施設工事 300万円／一般車両 250万円／物品購入・その他 200万円

【応募期限】2025年8月16日

【関連 URL】<https://swf.or.jp/support1/>

【問い合わせ】公益財団法人 洲崎福祉財団 事務局 〒103-0022 中央区日本橋室町3-2-1 日本橋室町三井タワー15階 TEL：03-6870-2019（平日9時30分～16時）

■公益財団法人 バリューHR健康寿命延伸財団「助成金」

【助成対象】健康寿命の延伸に寄与する啓発および日常生活を支援する活動の提案、事業化計画・企画構想を持つ個人または組織

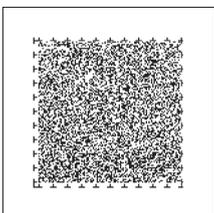
【助成金額】1件あたりの上限額：150万円

【応募期限】2025年8月31日

【関連 URL】<https://www.vhrkenkozaidan.or.jp/jyoseikin.html>

【問い合わせ】公益財団法人 バリューHR健康寿命延伸財団 〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-25-5 バリューHRビル内 TEL：03-6384-2801

E-mail：info@vhrkenkozaidan.or.jp



音声コード

特別支援教育を地域に届ける出張講座 旭出学園でまえ教室



左から養護の岡田先生、慶野 直美校長、
福田先生、仲川先生

東大泉にある旭出学園は、幼稚園から高等部専攻科まで、最長16年間の一貫教育を行っている私立の特別支援学校です。同学園の教員が講師を務める「旭出学園でまえ教室」は、知的発達が遅い子どもや、学びに凹凸のある子どもとその保護者を対象とした出張講座です。

「もっと地域の方々に学園のことを知ってもらいたい」「教員のス

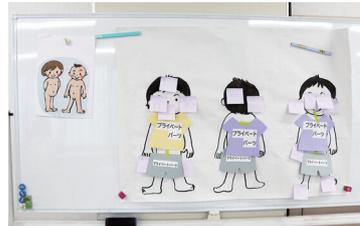
キルを活かして、地域の子どもたちに余暇活動を届けたい」との思いから、2016年に活動を開始しました。

当初は、子ども向けに年2回の工作教室を実施していましたが、参加者の声を受けて徐々に回数を増やし、現在では区教育委員会の委託を受けて、工作だけでなくダンスや保護者向けの講座も行っています。

なかでも、就労に関する保護者向けの講座は特に人気が高く、将来の進路に対する関心の高さがうかがえます。養護教諭の岡

田先生は「子どもたちが将来社会に出て働くために、幼い頃からどのような準備が必要かを伝えることで、不安が軽減される保護者も多いようです」と話します。

取材日には、



他人が見たり触ったりしてはいけないプライベートパーツ。イラストを使ってわかりやすく説明します

昨年からスタートした性教育講座が行われていました。男女の体の違いやプライベートパーツにつ

いて学び、性に関する約束事を具体的に理解する内容です。慶野校長は「情報の取捨選択が難しい子どもたちが、誤った情報

によって性加害や性被害に巻き込まれないよう、早い段階で正しい知識を伝えることが大切で

です」と、その重要性を語ります。でまえ教室に参加する子どもたちの特性はさまざまです。先生方は「どんな子が来るのか」「どのようなサポートが必要か」を毎回考えながら、短時間でも楽しめるような工夫を凝らしています。

「知的障がいを持つお子さんが、1人でも多く安心して快適に過ごせるよう、これからも支援を続けていきたい」と意気込む先生方の挑戦はこれからも続きます。

■旭出学園でまえ教室

代表：慶野 直美

住所：練馬区東大泉

7-12-16

TEL：03-3922-4134

メール：hanae.okada@

asahide.ac.jp(岡田)



性教育講座では、かるたなどの遊びを通して、性の知識やマナーを楽しみながら学びます

■公益財団法人 ベネッセこども基金

「重い病気を抱えるこどもの学び支援活動助成」

【助成対象】 重い病気により長期入院や長期療養をしている子どもの意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業を行う非営利団体

【助成総額】 1,000万円程度(募集要項をご確認ください)

【応募期限】 2025年9月1日

【関連 URL】 <https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>

【問い合わせ】 公益財団法人 ベネッセこども基金 助成窓口

TEL：04-7137-2570(平日10時~17時)

E-mail：jyosei-kodomokikin@grop.co.jp

■公益財団法人 正力厚生会「がん患者団体助成」

【助成対象】 国内で活動するがん患者会、がん患者やその家族を支援するグループ(医療機関内の患者会等を含む)などが行う、相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、インターネットによる情報発信などの企画運営

【助成金額】 1件あたりの上限額：50万円

【応募期限】 2025年10月17日

【関連 URL】 <https://shourikikouseikai.or.jp/works/kanja/doc.html>

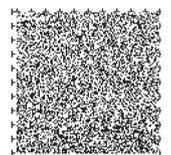
【問い合わせ】 公益財団法人 正力厚生会

事務局 〒100-8055 千代田区大手町1-7-1

読売新聞ビル29階 TEL：03-3216-7122

FAX：03-3216-8676

E-mail:skouseikai@yomiuri.com



練馬つながるフェスタ in 関町 を開催します!!



8月7日(木) 10時~12時
関区民センター 2階 多目的ホール
 (関町北1-7-2)

「練馬つながるフェスタ(つなフェス)」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の日頃の取り組みを見て、知って、体験するイベントです。練馬つながるフェスタ in 関町では、ワークショップ、物品販売およびステージ発表を実施します。ぜひ、会場へお越しください。詳しい内容は練馬区公式ホームページをご覧ください。

詳細はこちら→



令和7年度 (区からの委託事業)

生活習慣病に関する講座等を企画・実施する団体を募集

地域において、自主・自立的に生活習慣病予防に取り組む環境づくりを目指すため、生活習慣病の予防や生活習慣の改善を目的とした講座等を企画・実施する団体を募集します。

【対象(受託できる団体の基準)】

形態(法人・NPO・任意団体など)に指定はありませんが、健康づくりに関心を持つ団体であって、以下の要件を全て満たすことが必要です。

- ・団体構成員の半数以上が練馬区在住または在勤者であること。
- ・練馬区内に活動拠点があること。
- ・政治活動、宗教活動、営利活動を目的とした団体、公序良俗に反する団体でないこと。

【委託内容】

- 講座内容 高血圧や糖尿病予防のための食事教室やウォーキング運動講座など。
- 実施期間 令和7年7月~令和8年2月の間で講座等を実施してください。
- 委託料 25,000円
※実際の経費で25,000円を超過した分は各団体の負担となります。

【応募】

講座等を実施する1か月前までに「実施計画書」を下記の提出先まで直接ご持参ください。(講座等の実施日の1か月前の日が土曜日、日曜日、祝日の場合は、翌営業日まで)

【審査・選考】

申込順に、「実施計画書」の内容に基づいて審査および選考を行います。審査および選考の結果は文書により通知します。今年度の委託予定数は6団体です。

【提出先】 国保年金課 保健事業担当係 (区役所本庁舎3階)
 TEL: 03-5984-4713

事業の概要はこちら↓

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/nenkinhoken/kokuminkenkohoken/hokenkenkoshinsa/tiikidantai.html>



練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

練馬1-17-1ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時(12/29~1/3は休業)
 事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



facebook



<https://www.facebook.com/Nerimakuyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



X(旧twitter)



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

ホームページ

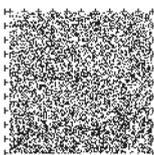
※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター 検索

★ 音声でお読みいただけます

「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。 NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL: 03-3577-5666



音声コード